

## 第16期 第1回小平市緑化推進委員会 会議要旨

- 開催日時 平成30年9月27日(木) 午後6時30分～午後8時30分
- 開催場所 小平市役所 6階 601会議室
- 出席者 椎名委員、山田委員、水野委員、市川委員、田中委員、白井委員、八田委員、千葉委員、菊地委員、和田委員、加藤委員、大久保委員、栗原委員(順不同)
- 傍聴人 なし
- 議題 第16期小平市緑化推進委員会の検討課題について
- 配付資料 (1) 第16期第1回小平市緑化推進委員会次第  
(2) 第16期小平市緑化推進委員名簿  
(3) 小平市緑化推進委員会設置要綱  
(4) 過去の提言書について  
(5) 小平市緑化推進委員会提言集  
(6) 小平市緑化推進委員会第12期～第15期提言書

### 会議の要旨

- 委員長の選出  
委員の互選により、椎名 豊勝氏に決定した。
- 副委員長の選出  
委員の互選により、山田 眞久氏に決定した。
- 第16期小平市緑化推進委員会の検討課題について

### 委員長

第16期の緑化推進委員会の提言は、平成32年度に予定されているみどりの基本計画の改訂の骨格となりうる提言ができるよい機会であると考えている。

本日は、検討テーマについて自由なご意見を出して頂くのが良いかと考えている。皆さんが日頃感じている緑に関することについて、お一人ずつお話を頂きたい。

### 委員

第16期の緑化推進委員会の方針として確認したい点が二点ある。

一点目は、第15期の提言書において実施可能性を視野においた具体的計画を提言するとあるが、第16期においてもその方針でいくのか、それとも10年、20年先を見据えた議論をしていくのか。

二点目は、過去の提言において多彩な内容が出されているが、重複する内容や過去の提言を加筆するようなものであってもよいか。

### **委員長**

提言の方針については、委員会の中かで議論して決めればよいと考えている。また、あくまで個人の見解ではあるが、重複した内容であってもよいと考えている。同じ内容であっても時代の変化とともに修正することは必要であると考えている。

### **委員**

私の住む地域には野火止用水や樹林地があるが、維持管理が大変であると日々感じている。

### **委員**

小平はグリーンロードや畑など多くの緑がある街だが、台風などの災害に対して適した緑の維持管理はどのようにすればよいかを考えていきたい。

### **委員**

用水路に水が流れていない地域へどうすれば通水できるかが最大のテーマであると考えている。過去の提言においても出てきていることではあるが、一歩でも進めるような提言が出せればよいと考えている。胎内掘の保全工事では通水にどのような影響があるか説明をしていただきたい。

### **事務局**

工事箇所を切り回して水を流すことを検討している。流量は現在の8分の1から10分の1程度に減ってしまうが小川用水の彫刻の谷緑道から小川緑地のあたりまでは流れるのではないかと想定している。

### **委員**

市で管理をしている雑木林において、子どもたちがなかに入っただけで緑に触れ合い、学びの場となるような提言をしたい。

### **委員**

小平には小さい用水路がたくさんあり、そこは生物の通り道になることから、用水路について関心を持っている。

## 委員

人口減少による税収の減少は、緑に対する財源を減少させてしまうことから、維持管理というのがより難しくなる。それを防ぐためには、ボランティア団体の力が必要であり、それをコーディネートするような組織があればよいと感じている。

## 委員

最近では災害が多く、水と緑の怖さを日々感じている。屋根よりもはるかに高い樹木に対してどのような管理をすればよいのか。安心安全で生活のしやすい街づくりのための緑のあり方について考えていきたい。

## 委員

みどりの基本計画のなかで小平の地域性や小平の緑の特異性を出す必要がある。小平は「プチ田舎」であるということで打ち出していくのもよいが、今までにはない小平の新しい緑化政策を提言することで他の自治体との差別化を図ることが必要であると感じている。

## 委員

緑を増やすことだけでなく、いかに美しく見せるかが重要であると考えている。そのためには無電柱化、無電線化をしなければならないと感じている。

## 委員

小平は、隣接する自治体が多くあり、その自治体とのつながりを活かした小平の緑の価値向上を考えていくことが必要であると感じている。また、市内の公園について、誰も利用者のいない公園がたくさんある。宅地開発による提供公園についてコンセプトを決めたり、住民のニーズに応えるような公園にすることで価値を高めることが必要であると感じている。緑のマネジメントやマーケティングの視点を持って提言を考えていきたい。

## 委員

緑の保全とイノベーションの推進が必要であると考えている。小平の緑の現在の状況と課題を把握した上で、魅力ある緑をつくること。またそれが経済的な価値を向上させるような取り組みができればよいと感じている。

## 委員

緑を求める人は多いが、緑のことを知らない人が多い。緑とはただ樹木や花があればよいということではなく、生命が豊かであることが重要である。生物多様性の観点と防災の観点から緑の保護をしなければならない。

## 委員長

人口減少のなかで都市間競争はますます激しくなってくる。移住する人が小平を選んでくれるために緑はどうあるべきかを考えなければならない。小平は社会的移動が多い街であるので、移住する人に対してこういう緑があるから小平に住みたいと思えるものがなければならない。またそれは生物多様性の裏付けのある緑であることが大事である。

## 委員

小平の緑の量ではなく、緑の質としての強みと弱みがあれば教えていただきたい。

## 事務局

そのような意識調査をしているわけではないので何とも言えないが、小平には雑木林など固まっている緑が残っており、視覚として緑を認識できることが強みであると考えている。

## 委員長

様々な視点から緑の強みを見つけることが重要なことである。まずは東京都内において小平の緑がもつナンバーワンやオンリーワンの価値を見出していくことが大事である。雑木林や用水路に生物多様性なども含めて様々な視点から調べてみるのはおもしろい。

緑を迷惑に感じている人が多くいるが、ナンバーワンやオンリーワンとしての価値を見出ことができれば緑と人の関係性も良くなるのではないか。

## 委員

雑木林以外の生物多様性についての調査はしているか。

## 事務局

雑木林というカテゴリーに入ってしまうが、都立樹林内の野火止用水にて現在生物調査を実施中である。

## 委員長

次回の委員会にて用水路の通水状況及び、武蔵野線のトンネル湧水を導水した場合の通水予測、雑木林の箇所数、グリーンロードの利用状況、生物多様性への取り組み状況について事務局から説明をしていただきたい。

以上